

9年間でめざす子ども像「気づき、考え、行動できる浅江っ子」

浅江小・中学校では、自ら「気づき、考え、行動できる」浅江っ子を、小・中9年間を通して学校・家庭・地域のつながりの中で育てることをめざしています。

「気づく」

小：関心をもつ（関心を高める、関わろうとする、前向きにとらえる）
 中：関心をもち主体的に関わろうとする（気づくための視点を増やす、自らやろうとする）

「考える」

小：答えを待つのではなく、自分で考えて解決しようとする
 中：あきらめずに自分で粘り強く考え、仲間と考えながら練り上げていく

「行動できる」

小：自分で行動する（地域や人の役に立つ）ことによるこびを感じる
 中：行動の視点が、自分から他者や地域のためへと変化していく（地域の担い手としての自覚）

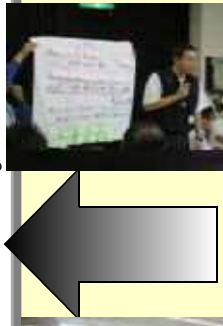


小・中合同学校運営協議会

—「15歳の浅江っ子像」についての熟議—

めざす「15歳の浅江っ子像」

- ・支え、支えられる子ども
- ・いつでも暖かく、どこでも機転が利き、いつまでも夢をもつ子ども
- ・ふるさと・自分・人 大好きな子ども
- ・地域の宝となる子ども
- ・地域が大好きな子ども
- ・自分に自信もてる子ども
- ・つながり、ふれあう子ども
- ・我がふるさとを誇りに思う子ども
- ・優しく、たくましい子ども
- ・地域が好きで語れる子ども
- ・地域の担い手として考えられる子ども
- ・感動できる子ども
- ・人と地域を愛せる子ども



そのための方策

- ・受容精神（手本となる挨拶、注意）
- ・体験活動
- ・名前を言って挨拶、言葉がけ
- ・大人が手本となる
- ・保護者が地域を大好きに 子どもの手本に
- ・地域の人とのかかわり
- ・あいさつ+1の言葉がけ
- ・三位一体（地域→行事の企画、家庭→感謝の心の育成、学校→地域のよさの認識）
- ・自己肯定感を高める
- ・大人、親が後ろ姿を見せる
- ・地域で子どもが役立つ場をつくる
- ・浅江大祭りをつくる
- ・つながる行事をつくる

小中一体となったさまざまな活動



小学生陸上教室



小学生水泳教室



小学校サマースクール



部活動見学

小中交流活動

地域行事への参加・参画



サンドアートin光



あさなえ大運動会



地域合同防災訓練

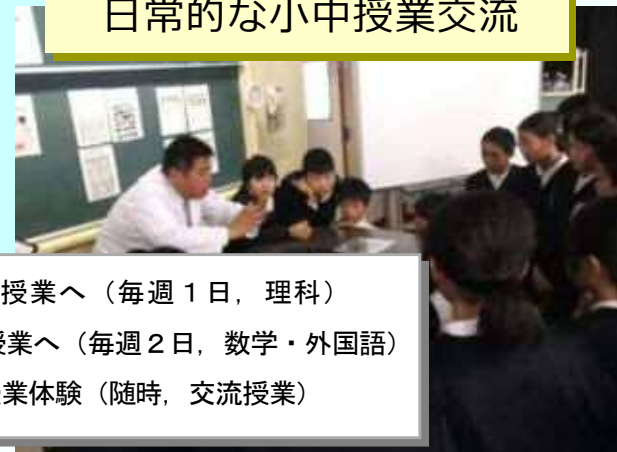
日常的な小中授業交流



潮音寺山ライトアップ



潮音寺山まつり



- ◎ 小学校教員が中学校の授業へ（毎週1日、理科）
- ◎ 中学校教員が小学校の授業へ（毎週2日、数学・外国語）
- ◎ 小学校6年生の中学校授業体験（随時、交流授業）

敬老と福祉のつどい

あさなえの学び舎

平成27年度
要覧

学び舎の教育目標

気付き・考え・行動できる児童・生徒の育成



光市立浅江小学校

校長 吉村 誠司

〒743-0012

光市光ヶ丘2-10

電話：0833-72-0039

FAX：0833-72-7059

mail：asae-e@hikari-net.ed.jp

http://asae-e.hikari-net.ed.jp/



教育目標

主体的に人や社会や自然とかわって 気づき、考え、行動する子どもの育成
～ 心の教育の推進をとおして ～

スローガン：いのちを大切に 光れ 輝け 浅江っ子

光市立浅江中学校

校長 伊藤 幸子

〒743-0047

光市花園2-1-1

電話：0833-72-0027

FAX：0833-72-8562

mail：asae-j@hikari-net.ed.jp

http://asae-j.hikari-net.ed.jp/



教育目標

人権尊重を基盤とした「美しい心」と社会の変化に主体的に対応できる知恵を備え、心身共に健康で、気付き・考え・行動できる生徒の育成

あさなえネットメインテーマ

『地域と保護者、学校が知恵を出し合い、未来を担う人材を育成する』